



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 アイフル株式会社

コード番号 8515 URL <http://aiful.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 山内 郁雄

TEL 075-201-2010

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	64,764	△6.7	10,200	△46.0	13,368	△37.7	13,308	△50.9
26年3月期第3四半期	69,415	△8.5	18,896	△18.4	21,460	△12.5	27,099	△7.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 13,350百万円 (△51.2%) 26年3月期第3四半期 27,358百万円 (△8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	27.63	27.52
26年3月期第3四半期	56.34	56.05

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	547,813	147,280	26.8
26年3月期	577,339	133,541	23.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 146,629百万円 26年3月期 133,129百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,635	△5.7	12,118	△46.1	13,786	△44.3	14,162	△53.5	29.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	483,452,636 株	26年3月期	481,867,836 株
27年3月期3Q	916,722 株	26年3月期	916,568 株
27年3月期3Q	481,679,761 株	26年3月期3Q	480,951,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P 4
4. 四半期連結財務諸表等	P 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 11
(継続企業の前提に関する注記)	P 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 11
(重要な後発事象)	P 11
5. 補足情報	P 12
(1) 営業実績（連結）	P 12
【営業収益】	P 12
【その他の指標】	P 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策などから企業収益や雇用環境の改善傾向が続いたものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や急激な円安などにより、先行きは不透明な状況となっております。

消費者金融業界におきましては、大手各社の積極的な広告展開などにより新規成約件数は引き続き好調に推移しており、また、営業貸付金残高においては底打ち感が鮮明になるなど、着実に回復に向かいつつあります。

一方、業界最大の事業リスクである利息返還請求については、ピーク時から着実に減少しているものの、足もとではほぼ横ばいで推移しており、未だ不透明感が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、平成26年6月10日に事業再生ADR手続に基づく対象債務の最終弁済を行い、同年7月10日をもって事業再生計画期間が終了しております。

また、同年7月10日時点での対象債務につきましては、同年6月13日付ニュースリリース「事業再生計画期間の終了及び金融支援の継続に関するお知らせ」に記載のとおり、債務の一部弁済、対象債権の買取及び社債との交換を行ったうえで、残存債務については金融支援を継続していただいております。

今後におきましては、最大の経営課題である利息返還請求へ対応しつつ、新事業計画における弁済計画を着実に履行してまいります。このほか、グループ全体での事業効率の向上を図るとともに、優良債権の獲得による債権ポートフォリオの更なる良質化に努め、トップラインの増加を目指してまいります。

## (業績の概況)

当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は64,764百万円（前年同期比6.7%減）となりました。その主な内訳といたしましては、営業貸付金利息が33,342百万円（前年同期比13.4%減）、包括信用購入あっせん収益が10,068百万円（前年同期比0.5%増）、信用保証収益が8,287百万円（前年同期比36.7%増）、買取債権回収高が1,545百万円（前年同期比21.5%減）、償却債権回収額が6,111百万円（前年同期比18.6%減）となっております。

営業費用につきましては、54,564百万円（前年同期比8.0%増）となりました。その主な要因といたしましては、金融費用が6,215百万円（前年同期比38.8%増）となったことなどによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業利益は10,200百万円（前年同期比46.0%減）となり、経常利益は為替差益3,068百万円などの営業外収益3,233百万円（前年同期比25.2%増）を計上したことにより13,368百万円（前年同期比37.7%減）、四半期純利益は13,308百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債、純資産、及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前期末に比べ29,525百万円減少の547,813百万円（前期末比5.1%減）となりました。減少の主な要因は、営業貸付金が38,709百万円減少したことなどによるものであります。（債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金の減少が含まれております。）

負債につきましては、前期末に比べ43,264百万円減少の400,533百万円（前期末比9.7%減）となりました。減少の主な要因は、借入金の返済により63,873百万円減少したほか、期中利息返還への充当により利息

返還損失引当金が22,453百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ13,738百万円増加の147,280百万円（前期末比10.3%増）となりました。増加の主な要因は、四半期純利益を計上したことなどによるものであります。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前期末に比べ5,727百万円減少の61,149百万円（前期末比8.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は31,562百万円（前年同期比43.1%減）となりました。これは主に、営業貸付金などの営業債権の減少による資金の増加が、利息返還損失引当金の減少による資金の減少を上回ったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,834百万円（前年同期は1,806百万円の回収）となりました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の取得による支出によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は34,689百万円（前年同期比31.3%減）となりました。これは主に、借入金の返済による支出によるものであります。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、大手各社の積極的な広告展開などにより新規成約件数は引き続き好調に推移しており、また、営業貸付金残高においては底打ち感が鮮明になるなど、着実に回復に向かいつつあります。

一方、業界最大の事業リスクである利息返還請求については、ピーク時からは着実に減少しているものの、足もとではほぼ横ばいで推移しており、未だ不透明感が続いております。

このような環境のもと、当社グループは最大の経営課題である利息返還請求へ対応しつつ、新事業計画における弁済計画を着実に履行してまいります。このほか、グループ全体での事業効率の向上を図るとともに、優良債権の獲得による債権ポートフォリオの更なる良質化に努め、トップラインの増加を目指してまいります。

平成27年3月期の当社グループの業績予想といたしましては、平成26年11月13日に公表いたしました予想から変更はございませんが、現状の当社を取り巻く事業環境は、様々なリスクが存在し、とりわけ利息返還請求の動向が未だ不透明であることから、最終の業績は予想値と異なる可能性がございます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、金融機関からの借入れ、社債発行、営業貸付金債権の流動化などの多様な手法により、短期・長期の資金調達を行ってまいりましたが、平成18年の最高裁判決を契機として増大した利息返還請求による資金負担増や急激な資金調達市場の悪化などを要因として、当社グループがその事業を継続するだけの新たな資金調達が困難な状況に至るおそれがあり、平成22年3月期連結会計年度より、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、当社グループは、今後の事業再生と事業継続に向け強固な収益体質の確立及び財務体質の抜本的な改善を図るため、平成21年9月24日、事業再生ADR手続の申込を行い、同年12月24日に開催された債権者会議において金融支援を含む事業再生計画が承認され、事業再生ADR手続が成立いたしました。

事業再生計画に基づき、平成26年6月10日に対象債務の最終弁済を行い、手続成立後の累計では、110,391百万円を対象債権者に弁済し、同年7月10日をもって事業再生計画期間が終了しております。

また、同年7月10日時点の対象債務161,740百万円につきましては、対象債権者の皆様の同意を得て、債務の一部弁済、対象債権の買取及び社債との交換を行ったうえで、残存債務52,700百万円については弁済スケジュールを変更し、金融支援を継続していただいております。

当社グループは、新事業計画に定める具体的な対応策を実施することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	66,880	61,153
営業貸付金	321,149	282,440
割賦売掛金	85,264	85,246
営業投資有価証券	825	866
支払承諾見返	102,419	112,346
その他営業債権	7,126	6,015
買取債権	2,233	1,997
その他	12,132	12,197
投資損失引当金	△18	△9
貸倒引当金	△69,540	△62,578
流動資産合計	528,473	499,675
固定資産		
有形固定資産	17,108	17,272
無形固定資産	3,057	2,336
投資その他の資産	28,700	28,529
固定資産合計	48,865	48,138
資産合計	577,339	547,813
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,261	11,903
支払承諾	102,419	112,346
短期借入金	49,250	48,880
1年内償還予定の社債	—	25,000
1年内返済予定の長期借入金	16,800	4,060
未払法人税等	619	522
引当金	4,098	4,074
その他	9,048	12,103
流動負債合計	192,498	218,889
固定負債		
社債	25,000	28,800
長期借入金	162,865	112,102
利息返還損失引当金	59,881	37,428
その他	3,551	3,312
固定負債合計	251,299	181,643
負債合計	443,797	400,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,324	143,399
資本剰余金	164,392	164,466
利益剰余金	△171,652	△158,344
自己株式	△3,110	△3,110
株主資本合計	132,953	146,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	218
その他の包括利益累計額合計	176	218
新株予約権	412	650
純資産合計	133,541	147,280
負債純資産合計	577,339	547,813



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業収益</b>		
営業貸付金利息	38,488	33,342
包括信用購入あっせん収益	10,023	10,068
個別信用購入あっせん収益	138	97
信用保証収益	6,062	8,287
その他の金融収益	6	12
その他の営業収益	14,697	12,956
営業収益合計	69,415	64,764
<b>営業費用</b>		
金融費用	4,477	6,215
売上原価	1,381	1,002
その他の営業費用	44,660	47,345
営業費用合計	50,518	54,564
営業利益	18,896	10,200
<b>営業外収益</b>		
為替差益	2,161	3,068
負ののれん償却額	163	—
その他	257	164
営業外収益合計	2,582	3,233
<b>営業外費用</b>		
貸倒引当金繰入額	—	40
その他	18	25
営業外費用合計	18	65
経常利益	21,460	13,368
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	164	325
負ののれん発生益	2,305	—
債権買取益	3,840	320
その他	88	—
特別利益合計	6,398	645
<b>特別損失</b>		
投資有価証券売却損	32	—
事業構造改善費用	9	—
その他	0	—
特別損失合計	42	—
税金等調整前四半期純利益	27,816	14,013
法人税、住民税及び事業税	635	649
法人税等調整額	82	55
法人税等合計	717	704
少数株主損益調整前四半期純利益	27,099	13,308
四半期純利益	27,099	13,308

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,099	13,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	42
その他の包括利益合計	259	42
四半期包括利益	27,358	13,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,358	13,350
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	27,816	14,013
減価償却費	2,791	2,104
債権買取益	△3,840	△320
負ののれん償却額	△2,468	—
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△4	△10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,032	△8,311
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△455	△454
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	260	430
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△23,167	△22,453
受取利息及び受取配当金	△16	△34
投資有価証券売却損益 (△は益)	△131	△325
営業貸付金の増減額 (△は増加)	61,646	38,709
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	356	17
その他営業債権の増減額 (△は増加)	78	1,110
買取債権の増減額 (△は増加)	619	236
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	2,280	1,987
営業保証金等の増減額 (△は増加)	△2,139	1,553
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,010	△435
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,054	4,363
その他	232	△377
小計	56,890	31,803
利息及び配当金の受取額	16	34
法人税等の還付額	71	369
法人税等の支払額	△1,473	△645
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,504	31,562
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△517	△886
有形固定資産の売却による収入	1,269	141
無形固定資産の取得による支出	△342	△329
投資有価証券の取得による支出	△1	△1,966
投資有価証券の売却による収入	517	375
その他	879	△170
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,805	△2,834

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	402,620	446,770
短期借入金の返済による支出	△393,950	△447,140
長期借入れによる収入	1,500	62,300
長期借入金の返済による支出	△51,669	△125,483
社債の発行による収入	—	28,800
社債の償還による支出	△8,700	—
株式の発行による収入	—	101
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△313	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,513	△34,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	234
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,840	△5,727
現金及び現金同等物の期首残高	61,198	66,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,039	61,149

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 営業実績 (連結)

【営業収益】

(単位：百万円、%)

セグメント の名称	項目	前年同四半期 平成26年3月期 第3四半期		当四半期 平成27年3月期 第3四半期		(参考) 前期 (平成26年3月期)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
アイフル 株式会社	営業貸付金利息	31,944	46.0	27,620	42.7	42,066	45.8
	無担保ローン	26,108	37.6	22,830	35.3	34,472	37.5
	有担保ローン	4,788	6.9	3,950	6.1	6,232	6.8
	事業者ローン	1,048	1.5	840	1.3	1,360	1.5
	包括信用購入あっせん収益	34	0.1	14	0.0	47	0.1
	個別信用購入あっせん収益	131	0.2	96	0.1	178	0.2
	信用保証収益	5,082	7.3	7,357	11.4	6,654	7.2
	その他の金融収益	4	0.0	4	0.0	9	0.0
	その他の営業収益	7,916	11.4	6,657	10.3	10,231	11.1
	償却債権回収額	7,409	10.7	5,964	9.2	9,536	10.4
	その他	506	0.7	692	1.1	695	0.7
小計	45,113	65.0	41,750	64.5	59,186	64.4	
ライフ カード 株式会社	営業貸付金利息	4,761	6.9	4,488	6.9	6,260	6.8
	無担保ローン	4,752	6.9	4,468	6.9	6,244	6.8
	有担保ローン	5	0.0	8	0.0	9	0.0
	事業者ローン	3	0.0	11	0.0	6	0.0
	包括信用購入あっせん収益	9,988	14.4	10,054	15.5	13,379	14.6
	個別信用購入あっせん収益	6	0.0	1	0.0	7	0.0
	信用保証収益	979	1.4	930	1.4	1,295	1.4
	その他の金融収益	0	0.0	2	0.0	0	0.0
	その他の営業収益	4,470	6.4	4,594	7.1	6,041	6.6
	償却債権回収額	73	0.1	137	0.2	99	0.1
	その他	4,396	6.3	4,457	6.9	5,941	6.5
小計	20,208	29.1	20,070	30.9	26,985	29.4	
その他	営業貸付金利息	1,781	2.6	1,233	1.9	2,251	2.5
	有担保ローン	726	1.1	298	0.5	821	0.9
	事業者ローン	1,055	1.5	934	1.4	1,429	1.6
	その他の金融収益	0	0.0	5	0.0	1	0.0
	その他の営業収益	2,311	3.3	1,704	2.7	3,433	3.7
	営業投資有価証券 売上高	210	0.3	99	0.2	248	0.2
	買取債権回収高	1,969	2.8	1,545	2.4	3,011	3.3
	償却債権回収額	20	0.0	9	0.0	26	0.0
	その他	110	0.2	49	0.1	146	0.2
	小計	4,093	5.9	2,943	4.6	5,686	6.2
合計	69,415	100.0	64,764	100.0	91,858	100.0	

(注) 1. ライフカード株式会社における「その他の営業収益」の「その他」は、カード会員収入等であります。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

【その他の指標】

項目		前年同四半期 平成26年3月期 第3四半期	当四半期 平成27年3月期 第3四半期	(参考) 前期 (平成26年3月期)
営業貸付金残高	(百万円)	356,584	346,399	348,010
	無担保ローン	260,145	267,993	261,221
	有担保ローン	49,715	36,584	41,267
	事業者ローン	46,723	41,821	45,521
口座数	(口座)	825,266	816,317	817,039
	無担保ローン	774,244	772,884	768,700
	有担保ローン	19,356	15,013	17,592
	事業者ローン	31,666	28,420	30,747
店舗数	(店)	693	813	704
	営業店舗(有人)	26	26	26
	営業店舗(無人)	667	787	678
自動契約受付機	(台)	716	841	716
ATM台数	(台)	162,376	164,728	162,629
	自社分	484	484	482
	提携分	161,892	164,244	162,147
社員数	(人)	1,378	1,345	1,369

(注) 営業貸付金残高及び口座数は、破産更生債権等を含んでおりません。なお、債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金(前年四半期末27,596百万円、当四半期末63,958百万円、前連結会計年度末26,860百万円)を含んでおります。